Princeton

コードレス ハンズフリーカーキット

PTM-BHMD

ユーザーズガイド

ご使用になる前に

改正道路交通法の施行について（平成16年11月1日施行）

携帯電話等の使用等に関する罰則が新たに実施されます。

- 自動車や原動機付自転車の運転者が走行中に、携帯電話等を手で保持して通話したり、メールの送受信等のために画像表示用装置※を手で保持して注視した場合、道路における交通の危険を生じさせなくても罰則の対象となります。

※ 画像表示用装置とは
液晶等により画像を表示するための装置をいい、具体的にはカーナビ、カーテレビ又は携帯電話、PDA、携帯型ゲーム等のディスプレイ表示部等をいいます。

違反車両の種類	大型・大特	普通自動車・自動二輪車	原付・小特
反則金	7千円	6千円	5千円
違反点数	1点		
罰則	5万円以下の罰金		

道路交通法に従って安全運転をしてください

運転者は、道路交通法に従う義務があり、道路交通法に反する行為（前方注意を怠たるなど）は違法です。事故や怪我の原因になりますので十分ご注意ください。

- 一部都道府県によっては、条例によりハンズフリーの使用が制限されている場合があります。
- 運転者は車の走行中に携帯電話や本製品の操作をしないでください。
走行中に本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- ご使用の携帯電話機によっては、通話中にエコー現象（通話相手に自分の声が少し遅れて聞こえる現象）が発生する場合があります。このような場合、電話機の音量を下げてみてください。ご使用の電話機によっては、解消されない場合がございます。予めご了承ください。
- 車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。

［安全のご注意］［本書の記載内容］をよくお読みください

安全のご注意には、安全上で守っていただきたい注意事項を記載しています。その他、本書には正しい使用方法が記載されています。
誤った使用は、事故や怪我、故障の原因になります。必ず正しくご使用ください。

使用前に点検してください

本製品を使用前に、取り付け部分や電源ケーブルなどが正しく接続されているか、確認してください。
通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

故障したら使用しないでください

動作異常や破損、使用中の異臭、異音などが認められた場合、車を安全な場所に止め、本製品を取り外して販売店にご連絡ください。

安全上のご注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

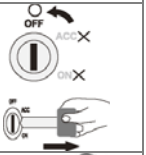
危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うさし迫った危険の発生が想定される内容。
警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

注意を促す記号（△中に警告内容が描かれています。）

行為を禁止する記号（〇の中や近くに禁止内容が描かれています。）

行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

危険	
	運転中の携帯電話および本製品の操作はおやめください。運転中の携帯電話および本製品を操作は交通事故の原因になります。運転者が携帯電話および本製品を操作する場合は、駐車可能で安全な場所に停車してからご使用ください。
	航空機の運行の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内では、携帯電話から本製品を外し、機内では使用しないでください。

警　告	
⊘	前方の視界を妨げる場所に、取り付けないでください。事故や怪我の原因となります。また、エアバッグシステム動作の妨げにならない場所に設置してください。
⊘	運転操作や車体の可動部分を妨げる場所に、取り付けないでください。事故や怪我の原因となります。
❗	取り付け、接続作業を行う際は必ずイグニッションキーをOFFにしてください。 イグニッションキーをONにしたまま設置作業を行うと、バッテリ上がりやヒューズ飛び、火災や故障の原因になります。 
❗	内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
❗	発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、本製品をシガーソケットから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。
⊘	浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
⊘	本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。 万が一、水や異物が入ってしまった場合は、使用を止め販売店にご相談ください。
⊘	雷鳴が聞こえたら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。
⊘	本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属の車載用スタンド（DC12～24V）もしくは別売りの専用ケーブル以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。

	電源の接続は必ず同梱の車載用スタンドをご使用ください。同梱の車載用スタンドもしくは別売りの専用ケーブル以外を使用した場合、発熱、発火または故障の原因となります。
	本製品を落としたり、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
	本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
	本製品を分解、改造しないでください。本製品や携帯電話の火災、感電、破損の原因になります。
	熱器具の近くや直射日光の当たるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。
	電源ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
	電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
	電源ケーブルを熱器具の近くや直射日光の当たるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
	電源ケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせないでください。躓いて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

注　意	
⃠	不安定な場所に取り付けないでください。 天井や落下の危険がある場所、振動の多い場所などには設置しないでください。事故や怪我の原因になります。
⃠	本製品の通風口や放熱板をふさがない。 フロアマットの下や、シートのようなものの下に設置して、本製品の通風口や放熱板をふさがないでください。製品内に熱がこもり、故障や火災の原因になります。
⃠	指定されている部品で正しく取り付けてください。本書で指定されている以外の部品で設置した場合、取り付け部分の破損などで、故障や怪我の原因になります。
⃠	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。
⃠	窓を閉め切った自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光が当たるところや、エアコンの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災、感電の原因になることがあります。
❗	万が一の事故防止のため、この機器をシガーソケットの近くに置き、すぐにシガーソケットから車載用スタンドを抜けるようにしてください。
⃠	充電完了後に、長時間車載用スタンドをシガーソケットに接続したままにしないでください。 充電終了後は、安全のために必ずシガーソケットから車載用スタンドを抜いてください。（6時間以上の充電はしないでください）
❗	充電は必ず室内で行ってください。
❗	お手入れの際は、安全のため本製品をシガーソケットから抜いてください。
⃠	濡れた手で車載用スタンドを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
❗	車載用スタンドや充電ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
❗	お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。

	携帯電話と本製品を装着した状態で振り回さないでください。傷害や破損の原因になります。
	自動車内で使用した場合、車種によりまれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、そのような場合は使用しないでください。
	本製品や携帯電話のコネクタ部分を、むやみに指で触れたり金属を接触させたり水気や埃を付着させないようご注意ください。接触不良や静電気により、本製品および携帯電話の故障や感電の原因になります。
	本製品に動作対応している携帯電話機以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

目次

使用上のご注意 9

はじめに 12
付属品の確認 12
各部の名称と主な機能 13
アダプタの充電方法 14

機器の接続 15
本体と車載用スタンドを接続する 15
車への取り付け 16
アダプタを携帯電話に接続する 17
接続と設置が終了したら 17

機器の設定 18

設定済みの本体を使用する 19
アダプタの電源を入れる 19
本体の電源を入れる 19

通話をするときは 20
電話を受ける～終了する 20
音量調整 20
電話をかける～終了する 21

電源を切る 22
アダプタの電源を切る 22
本体の電源を切る 22

Bluetooth携帯電話を使用する 23
au A5504T を使用する場合 24
au W21T を使用する場合 26
FOMA F900iT を使用する場合 28
設定済みの本体を使用する(Bluetooth 携帯電話) 30
電話を受ける～終了する(Bluetooth 携帯電話) 30
電話をかける～終了する(Bluetooth 携帯電話) 31

便利な使い方 32
着信履歴検索[Bluetooth 携帯電話のみ対応] 32
かかってきた通話を着信拒否する[Bluetooth 携帯電話のみ対応] 32
通話を携帯電話に切り替える[Bluetooth 携帯電話のみ対応] 33
こちら側の音声が相手に聞こえないようにする
－ミュート機能－[Bluetooth 携帯電話のみ対応] 34

困ったときは? 35

LED ランプ表示一覧 38
アダプタ操作一覧 38
仕 様 39
ユーザー登録について 40
テクニカルサポートへのお問い合わせ 40

使用上のご注意

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。

- 電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。

本製品の電池について（携帯電話用アダプタ PTM-BMD）

- 長時間（6時間以上）の充電はしないでください。
- 電池には寿命があります。
  使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。
- 電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

良好な通信のために

- 他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- 電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を与えやすいので3m以上離してください。）本製品が正常に通信できない場合や、テレビ、ラジオなどに受信障害が起こる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。
  他のBluetooth機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について

- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

- テレビ/ラジオなどはBluetoothとは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

- 本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
- サービスエリア内でも電波の届かないところでは通話できません。また、電波状況の悪いところでは通話できないところもあります。なお、通話中に電波状況の悪い所へ移動すると、通話が途中で途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性もありますので、ご留意ください。

はじめに

この度は、コードレスハンズフリーカーキット PTM-BHMDをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品では、無線通信技術Bluetoothを使用することで、お客様の携帯電話を使用してハンズフリー通話を実現します。
安全かつ快適にご使用いただくために、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」「製品保証規定」「使用上のご注意」をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で付加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。
- 一部都道府県によっては、条例によりハンズフリーの使用が制限されている場合があります。ご注意ください。
- 運転中の携帯電話および本製品の操作はおやめください。走行中に本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

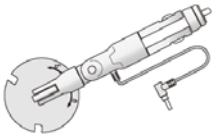
付属品の確認

本製品の付属品の内容は、次のとおりです。お買い上げの商品に次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

ハンズフリー本体

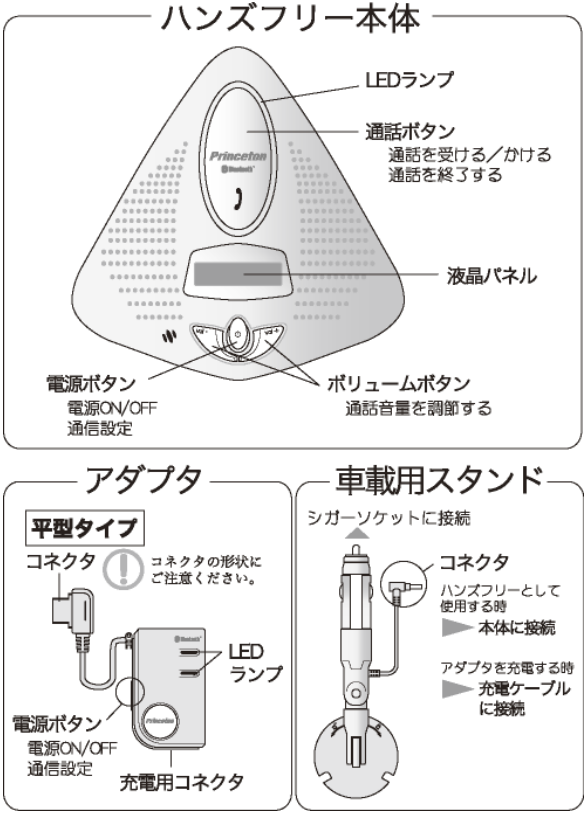
アダプタ

充電ケーブル



車載用スタンド

各部の名称と主な機能


ハンズフリー本体
LEDランプ
通話ボタン
通話を受ける／かける
通話を終了する
液晶パネル
電源ボタン
電源ON/OFF
通信設定
ボリュームボタン
通話音量を調節する
アダプタ
平型タイプ
コネクタ
コネクタの形状に
ご注意ください。
LED
ランプ
電源ボタン
電源ON/OFF
通信設定
充電用コネクタ
車載用スタンド
シガーソケットに接続
コネクタ
ハンズフリーとして
使用する時
本体に接続
アダプタを充電する時
充電ケーブル
に接続

アダプタの充電方法

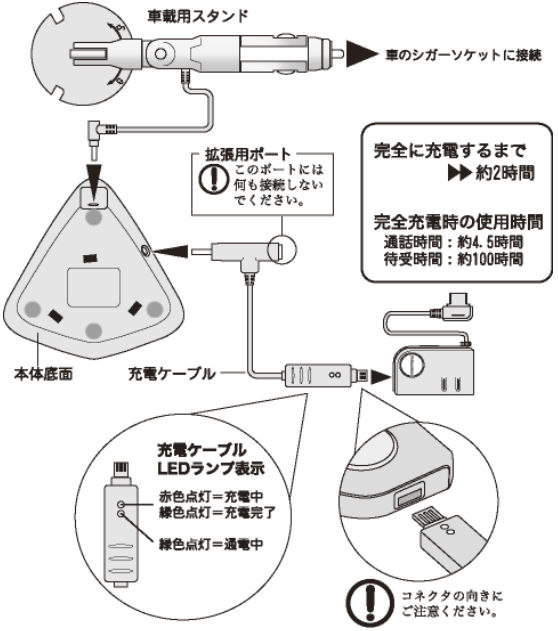
工場出荷時のバッテリは完全充電されていません。
初めてお使いになるときは必ず充電をしてください。

注意

バッテリが完全に充電されているときは、通話は最大4.5時間、待機は最大100時間可能です。

6時間以上充電しないでください。

アダプタを充電しながら、携帯電話に接続して通話等に使用することはできません。



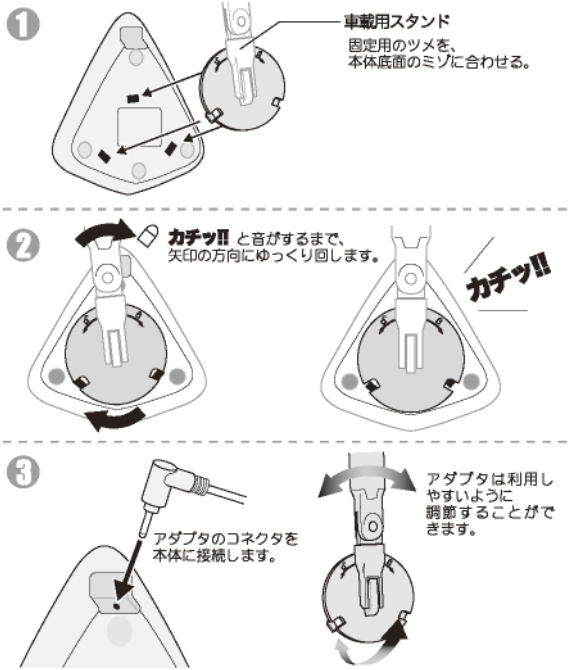
機器の接続

本体と車載用スタンドを接続する

注意

ご使用の車種によっては、シガーソケットの位置が異なります。詳しくは車の取扱説明書をご覧ください。

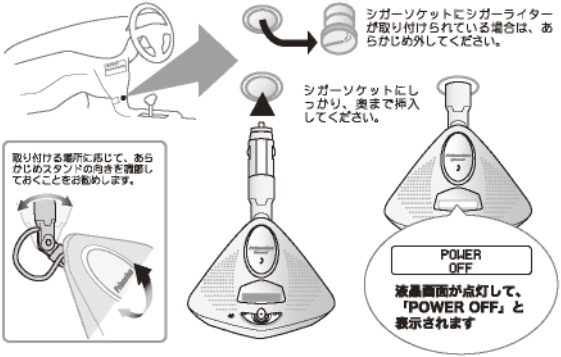
また、シガーソケットの位置によっては、同梱の車載用スタンドでは接続できない場合がございます。その際は、別売りの「PTM-BHMDC ―ハンズフリーカーキット用シガーケーブル―」をご購入ください。



車への取り付け

1 車のエンジンが切れていることを確認してください。

2 本製品をシガーソケットに取り付けます。



3 取り付け完了です。

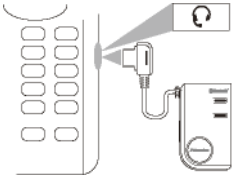
本製品はイグニッションキーがONの場合、常時通電している状態になります。

通常、イグニッションキーをOFFにすると、本製品の電源もOFFになりますが、車種によっては、イグニッションキーをOFFにしても、シガーソケットは常に通電している場合がございます。
本製品を使用しない場合は、できるだけ車から取り外すことをお勧めします。

アダプタを携帯電話に接続する

注意

設定後に接続してください。



接続と設置が終了したら

本製品の動作確認を行う前に、必ず車のすべての電装部分（ブレーキランプなどのライト類、ウィンカー、ホーンなど）が正しく動作しているか確認してください。

本製品の取り付け場所が、下記のような場所に設置されていないか確認してください

・運転の支障になるような場所
・不安定な場所
・運転中の視界を妨げる場所
・車の可動部分に影響する場所
・高温になる場所

機器の設定

注意

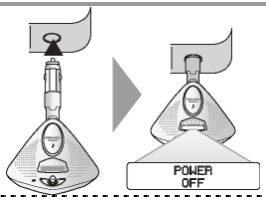
本製品をはじめて使用する場合、機器の設定が必要です。

設定作業は、電源を入れてから2分以内に行ってください。2分以上経過した場合は、再度設定を行ってください。

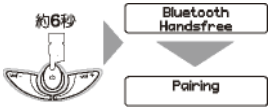
本体とアダプタはできるだけ近くに置いてください。

下記の手順に従って、正しく設定を行ってください。

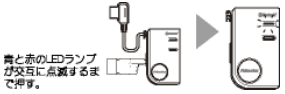
1 本体を車に取り付けます。
本体を車のシガーソケットに接続すると自動的に通電状態になり、液晶画面には「POWER OFF」と表示されます。



2 本体の電源ボタンを約6秒間押したままにすると、通話ボタンのLEDランプが点滅して液晶画面に「Pairing」と表示され、設定可能な状態になります。



3 青と赤のLEDランプが交互に点滅するまで、ボタンを押したままにします。LEDランプが交互に点滅したらボタンから指を離します。

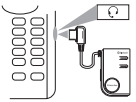


4 自動的に通信設定が行われます。
通信設定が完了すると、アダプタの青のLEDランプが点滅後、3秒おきに1回点滅します。（待機状態になります）

本体の通話ボタンのLEDランプが青色に点灯し液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示されます。

5 設定が完了したら、携帯電話のイヤフォンコネクタに、アダプタを接続します。

以上で設定完了です。

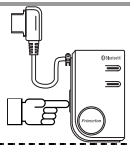


設定済みの本体を使用する

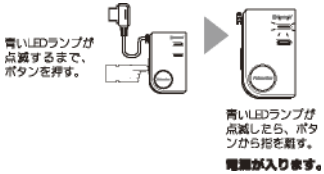
一度設定した本体は、再度設定をする必要はありません。

アダプタの電源を入れる

1 青いLEDランプが点滅するまで、ボタンを押したままにします。



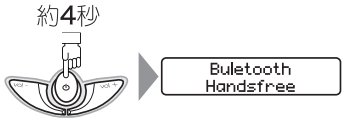
2 青いLEDランプが点滅したら、ボタンから指を離します。



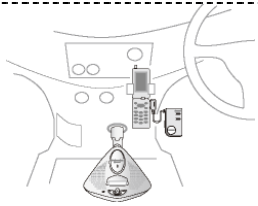
本体の電源を入れる

1 約4秒間、電源ボタンを押したままにします。

2 通話ボタンのLEDランプが点滅します。液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示され、LEDランプが点灯した状態になります。



3 本体と携帯電話を近くに置きます。



通話をするときは

注意

車を運転中に本体の表示を凝視することは禁止されております。

下記の状態では、本体で電話を受けたり通話することができません。ご注意ください。

・本体の電源が切れている（POWER OFFと表示されている）場合

・アダプタと本体が正しく設定されていない場合

・アダプタが充電されていない場合

携帯電話の留守番電話機能と併用される場合のご注意

携帯電話の留守番電話に移行するまでの時間が短い場合、受信する前に留守番電話に切り替わってしまう場合があります。留守番電話に移行する時間は、10秒以上に設定されることをお勧めいたします。

電話を受ける～終了する

1 携帯電話の呼び出し音が鳴ったら、本体の通話ボタンを1回押して通話を開始します。
（本体の切替に約5秒ほどかかります）
電話を受ける際に、通話ボタンを2回以上押すと、通話開始後すぐに切断される場合がございます。通話ボタンは必ず1回だけ押してください。

2 通話を終了するには、再度本体の通話ボタンを1回押します。
（約3秒後に切れます）

音量調整

音量の調整は本体のボリュームボタンで行います。

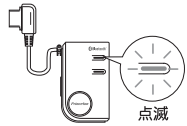
電話をかける～終了する

注意

車を運転中に携帯電話の操作を行うことは道路交通法により禁止されております。
車を運転中に本体の表示を凝視することは禁止されております。

1 本体の通話ボタンを1回押します。

2 アダプタの青いLEDランプが点滅していることを、確認してください。通常の携帯電話と同様に電話をかけます。



3 通話が開始されたら、本体で通話することができます。

4 通話を終了するには、本体の通話ボタンを1回押します。
（約3秒後に切れます）

ヒント

指定したメモリー番号にボタンひとつで発信する

携帯電話にボイスダイヤル機能がある場合、発信時に本体のボタンを押すと、ボイスダイヤル機能が動作する携帯電話があります。

発信時に本体のボタンを押すと携帯電話の電話帳の決まった短縮番号へ自動的に発信動作する携帯電話があります。

これらの動作を行う機種においては、頻繁に発信する番号をあらかじめ指定したメモリー番号（短縮番号）に登録しておくことで、ボタン１つで電話をかけることが可能です。これらの機能を使用する場合（または、使用しない場合）、携帯電話の取扱説明書を参照してください。（該当機種につきましては、弊社ホームページの対応表およびFAQをご覧ください。）

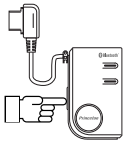
■注意■

メモリー番号から通話した場合、相手が先に通話を切った後に通話ボタンを押して通話を切る操作を行うと、再度ダイヤルを開始する場合があります。このような場合は、お手数ですが携帯電話の切断ボタンを押して通話を終了してください。

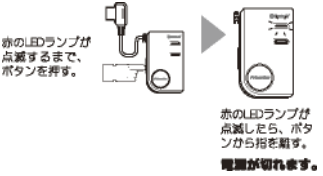
電源を切る

アダプタの電源を切る

1 赤色LEDランプが点滅するまで、ボタンを押したままにします。



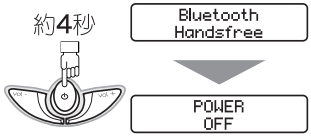
2 赤いLEDランプが点滅したら、ボタンから指を離します。



本体の電源を切る

1 約4秒間、電源ボタンを押したままにします。

2 通話ボタンのLEDランプが点滅して、液晶画面に「POWER OFF」と表示され、通電状態になります。



注意

本体は、シガーソケットに接続している間は常に通電状態になり、液晶画面には「POWER OFF」と表示されます。

電話をかけるまたは受ける場合は、電源ボタンを4秒間押して、電源を入れてからご使用ください。

本体の電源がONのままシガーソケットから外したり、車のイグニッションスイッチをOFF（エンジンをOFF）にしないでください。
次回使用する際、自動的に電源ONの状態になります。

Bluetooth携帯電話を使用する

本製品は、Bluetooth携帯電話に対応しており、アダプタを使用せずに本体と直接通信することが可能です。
また、本製品にはBluetooth携帯電話のみ使用できる便利な機能があります。

Bluetooth携帯電話 機能一覧

・着信履歴検索機能（P.32）
・着信拒否機能（P.32）
・通話切り替え機能（P.33）
・ミュート機能（P.34）

Bluetooth携帯電話を使用する前のご注意

注意

機器の設定を行うときは、携帯電話の取扱説明書もご用意ください。

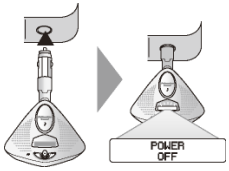
設定作業は、電源を入れてから2分以内に行ってください。2分以上経過した場合は、再度設定を行ってください。

本体とアダプタはできるだけ近くに置いてください。

au A5504T を使用する場合

下記の手順に従って、正しく設定を行ってください。

1 本体を車に接続します。
本体を車のシガーソケットに接続すると自動的に通電状態になり、液晶画面には「POWER OFF」と表示されます。



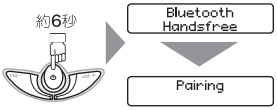
2 携帯電話のBluetooth設定をします。
待受け画面で、(*) を押します。

3 Bluetoothメニューで (1) を押します。

4 ▼ を押して、［初期登録］を選択し、(●)（決定キー）を押します。
確認画面が表示されたら (はい) を選択します。

自動的に機器の検索を開始します。

5 サーチ中の画面になったら、本体の電源ボタンを約6秒間押したままにすると、通話ボタンのLEDランプが点滅して液晶画面に「Pairing」と表示され、設定可能な状態になり、自動的に通信設定が行われます。



6 機器選択画面に、本製品「BT Headset-F」が表示されたら、● (決定キー) を押します。

自動的に登録を開始します。

7 Bluetoothパスキー［1234］を入力して、● (決定キー) を押します。

8 携帯電話の通信設定が完了すると、本体の通話ボタンのLEDランプが青色に点灯し液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示されます。

以上で、設定完了です。
（携帯電話と接続が確立している状態になります）

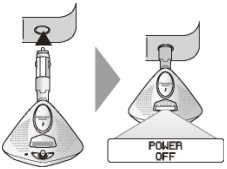
携帯電話の表示と本体のLEDランプ点灯状態について

携帯電話との接続が確立していない場合	**携帯電話**	(白地のマーク)
携帯電話との接続が確立している場合	**携帯電話**	(青地のマーク)

au W21T を使用する場合

下記の手順に従って、正しく設定を行ってください。

1 本体を車に接続します。
本体を車のシガーソケットに接続すると自動的に通電状態になり、液晶画面には「POWER OFF」と表示されます。

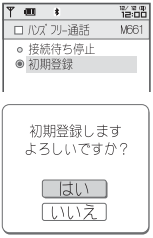


2 携帯電話のBluetooth設定をします。
待受け画面で、
● 6 6
を押します。

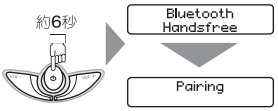
3 Bluetoothメニューで ▭ を押します。

4 ［初期登録］を選択し、●（決定キー）を押します。
確認画面が表示されたら はい を選択します。

自動的に機器の検索を開始します。



5 サーチ中の画面になったら、本体の電源ボタンを約6秒間押したままにすると、通話ボタンのLEDランプが点滅して液晶画面に「Pairing」と表示され、設定可能な状態になり、自動的に通信設定が行われます。



6 機器選択画面に、本製品「BT Headset-F」が表示されたら、◉（決定キー）を押します。

自動的に登録を開始します。

7 Bluetoothパスキー［1234］を入力して、◉（決定キー）を押します。

8 携帯電話の通信設定が完了すると、本体の通話ボタンのLEDランプが青色に点灯し液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示されます。

以上で、設定完了です。
（携帯電話と接続が確立している状態になります）

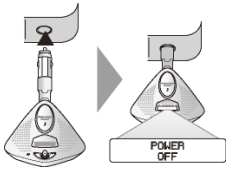
携帯電話の表示と本体のLEDランプ点灯状態について

携帯電話との接続が確立していない場合	**携帯電話**	（白地のマーク）
携帯電話との接続が確立している場合	**携帯電話**	（青地のマーク）

FOMA F900iT を使用する場合

下記の手順に従って、正しく設定を行ってください。

1 本体を車に接続します。
本体を車のシガーソケットに接続すると自動的に通電状態になり、液晶画面には「POWER OFF」と表示されます。



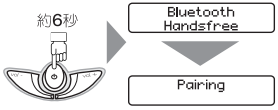
2 携帯電話のBluetooth設定をします。
待受け画面で、
MENU 4 7 7 2
を押します。

3 4を押して、機器登録をします。

4 携帯電話に設定されている暗証番号を入力して、● (決定キー) を押します。 (暗証番号を変更していない場合は、0000を入力してください)

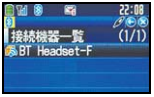
自動的に機器の検索を開始します。

5 サーチ中の画面になったら、本体の電源ボタンを約6秒間押したままにすると、通話ボタンのLEDランプが点滅して液晶画面に「Pairing」と表示され、設定可能な状態になり、自動的に通信設定が行われます。



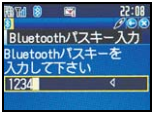
6 接続機器一覧画面に、本製品「BT Headset-F」が表示されたら、● (決定キー) を押します。

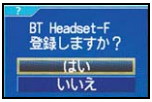
自動的に登録を開始します。



7 Bluetoothパスキー［1234］を入力して、◉（決定キー）を押します。

確認画面が表示されたら［はい］を選択して◉（決定キー）を押します。





8 携帯電話の通信設定が完了すると、本体の通話ボタンのLEDランプが青色に点灯し液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示されます。

以上で、設定完了です。
（携帯電話と接続が確立している状態になります）

設定済みの本体を使用する（Bluetooth 携帯電話）

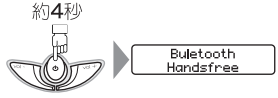
一度設定した本体は、再度設定をする必要はありません。

1 **携帯電話を接続待ちの状態にします。**

※設定方法は、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

2 約4秒程度、電源ボタンを押したままにします。

3 通話ボタンのLEDランプが点滅します。液晶画面に、「Bluetooth Handsfree」と表示され、LEDランプが点灯した状態になります。



使用する際は、携帯電話を本体の近くに置いてください。

電話を受ける～終了する（Bluetooth 携帯電話）

注意

本体の電源が切れている（POWER OFFと表示されている）場合、または携帯電話との接続が確立されていない場合、本体で電話を受けたり、通話することはできません。

携帯電話のBluetooth機能については、携帯電話付属の取扱説明書をご確認ください。

1 携帯電話の呼び出し音が鳴ったら、本体の通話ボタンを1回押して通話を開始します。

2 通話を終了するには、再度本体の通話ボタンを1回押します。

電話をかける～終了する（Bluetooth 携帯電話）

注意

車を運転中に携帯電話の操作を行うことは道路交通法により禁止されております。

車を運転中に本体の表示を凝視することは禁止されております。

1 携帯電話と正しく通信設定されているか確認してください。

2 通常の携帯電話と同様に電話をかけます。

3 通話が開始されたら、本体で通話することができます。

上記の操作で通話できない場合

ご使用の携帯電話の機種によっては、上記の操作で通話できない場合があります。このような場合は、通話が開始された時に、ボリュームボタン（+）を約4秒押して、本体の通話に切り替えてください。

4 通話を終了するには、本体の通話ボタンを1回押します。
（約3秒後に切れます）

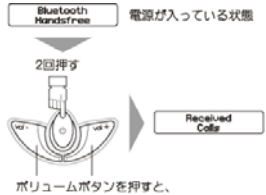
便利な使い方

着信履歴検索［Bluetooth 携帯電話のみ対応］

かかってきた電話番号を、最新10件分記録することができます。
記録されている番号を呼び出して、簡単にダイヤルすることができます。

1 本体に電源が入っている状態で、電源ボタンを2回押すと液晶画面に「Received Calls」と表示されます。
ボリュームボタンを押すと、かかってきた番号の最新10件を表示します。

10秒間操作をしないと、もとの電源が入っている状態に戻ります。



2 かけたい番号が表示されている状態で、通話ボタンをおすとダイヤルを開始します。

かかってきた通話を着信拒否する［Bluetooth 携帯電話のみ対応］

電話がかかってきて、呼び出し音が鳴っている間に電源ボタンを1回押すと、かかってきた電話を着信拒否することができます。

注意

車を運転中に本体の表示を凝視することは禁止されております。

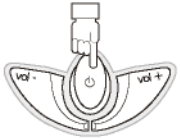
通話を携帯電話に切り替える [Bluetooth 携帯電話のみ対応]

通話中に、ボリュームボタン（+）を約4秒押すと、携帯電話へ通話を切り替えることができます。
本体へ通話を切り替える場合は、携帯電話を操作してください。

こちら側の音声が相手に聞こえないようにする
ーミュート機能ー [Bluetooth 携帯電話のみ対応]

通話中に、本体の電源ボタンを1回押すと、こちら側の音声が相手側で聞くことができなくなります。（ミュート状態）
再度、電源ボタンを押すとミュート状態が解除され、通常の通話に戻ります。

通話中の状態



電源ボタンを押すと、ミュート状態になります。

困ったときは？

音声が小さい

本体のスピーカー音量が小さい場合には、携帯電話の受話音量を調節して音量を大きくしてください。（受話音量の操作方法は各携帯電話の取扱い説明書をご参照ください）

電源が入らない ［ P.14 、P.15 参照 ］

●アダプタの電源が入らない場合
アダプタの充電が足りない可能性があります。
再度、十分に充電されているか（充電ケーブルのLEDランプが緑色のボタンになっているか）確認してください。

●本体の電源が入らない場合
スタンドと本体が正しく接続されていない可能性があります。
正しく接続されているか確認してください。

本体が車に正しく接続されていない可能性があります。
正しく接続されているか確認してください。

車のイグニッションキーがONの位置になっているか確認してください。

本体の液晶画面に「POWER OFF」と表示されている場合、本体の電源ボタンを押して本体を起動してください。

いつまでも赤と青のLEDランプが点滅している

お互いの機器の認識が正常に行われていない可能性があります。設定を一度中止して、はじめからやり直してください。また、同じ機器を複数使用している場所においては、認識作業を他の機器と同時に行わないよう気をつけてください。

正しく操作できない

本書に記載されている通りにボタンを操作しても、使用上状況により正しく機能しない場合がございます。そのような場合は、ボタン操作を通常より、1〜2秒長めに押してみてください。

通話または受信できない ［ P.20 、P.30参照 ］

本体または携帯電話のアダプタの電源が切れている場合、通話または受信ができません。

充電がうまくいかないのですが？

製品に充電する際には、必ず電源をオフしてから行うようご注意ください。 なお工場出荷時にはバッテリーの充電はされておりませんので、使用する前に2時間以上充電を行ってください。

アダプタの電池がすぐになくなる

通話が終了した場合には、毎回必ず通話を切る必要がありますのでご注意ください。切らないまま放置していると、本体とアダプタが通信状態になっているため、電池がすぐになくなる原因にもなります。

着信拒否・ミュート・着信履歴検索・通話の切り替えなどが使えない［ P.23 参照 ］

これらの機能は、Bluetooth携帯電話をご使用の場合のみ使用できます。

「PhoneBook」と表示されますが、電話帳を登録することが可能なのですか？

申し訳ございませんが、この機能は日本の携帯電話では使用できません。（この機能については、サポート対象外になります。予めご了承ください）

コードレスタイプの製品は、車内で使用するときにエンジンやホイールが回るときにノイズ（雑音）を拾うと聞きましたが？

現状販売されておりますRF、FM・AM波を使用したタイプの製品は低周波帯のため、ノイズが入りやすい製品があります。 しかしBluetooth搭載製品はノイズに強い設計になっているため、他の無線を利用した製品と比べますと、よりクリアな音質を得ることができます。 ただし、Bluetooth搭載製品でも無線を利用していますので、ノイズが全くないとは言えませんので予めご了承ください。

ハンズフリー本体を使っている人は普通に音声が聞こえるのに、 電話をかけてきた相手の人は「キーン」という音や、話した声が聞こえてしまうといいます。どうしたら、クリアな音質で通話できるのでしょうか？

ハンズフリー側のボリュームを調整するか、接続している携帯電話の音量を調整してください。 また相手側の電話の音量を調整することにより、対処できることもあります。（環境によって対処が困難な場合もございます。 予めご了承ください。）

電話が鳴ったのでハンズフリー本体のボタンを押して取ろうとしたのに、取れるときと取れないときがある

前回通話を終了したときに正しく終了していなかったため、アダプタとハンズフリー本体が通信状態のままですと、次に電話が着信しても取ることができません。 そのためにも、電話を切るときは必ず切断ボタンを3秒以上押して、確実に通話を終了させてください。（通信状態のまま放置しておくと、電池の消耗が激しくなります）

製品に関するFAQは、下記弊社ホームページご参照ください。

弊社ホームページ　http://www.princeton.co.jp/

LED ランプ表示一覧

		待機状態	通話状態
アダプタ	青ランプ	約3秒おきに1回点滅	約3秒おきに連続点滅
	赤ランプ	消灯	消灯

アダプタ操作一覧

操作前の状態	ボタン操作	LEDランプ表示	動作
電源OFF	約3秒押す	青のLEDランプが点滅後、約3秒に1回点滅	電源ON
電源OFF	約5秒押す	赤と青のLEDランプが交互に点滅	設定モード
電源ON	約3秒押す	赤のLEDランプが点滅	電源OFF

仕　様

共通仕様

伝送方式	FHSS（周波数ホッピング方式）
周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz
通信距離	約10m ＊使用環境により異なります。
発信出力	1mW
セキュリティ	128ビット暗号化
対応プロファイル	ヘッドセット・ハンズフリー
動作温度	-10～55℃
動作湿度	10～90%（結露なきこと）
保管温度	-20～70℃
保管湿度	10～90%（結露なきこと）
動作環境	イヤフォンジャック（平型端子）を持つ携帯電話機器 ＊対応機器については弊社ホームページの対応表をご確認ください。
付属品	アダプタ・充電ケーブル・車載用スタンド・取付けテープ

ハンズフリー本体（型番：PTM-BHM）

適合規格	Bluetooth　Ver1.2
電源	12～24Vシガーソケットより供給
外形寸法	W124XD120XH32mm ＊車載用スタンド除く
質量	120g ＊車載用スタンド除く

アダプタ（型番：PTM-BMD）

適合規格	Bluetooth　Ver1.1
電源	内蔵Li-ionバッテリ
連続通信時間	約4.5時間
連続待受時間	約100時間
外形寸法	W45.0XD10.4XH25.8mm
質量	13g

ユーザー登録について

弊社ホームページ にて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ 「ユーザー登録」
http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。

※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできません。
あらかじめご了承ください。

テクニカルサポートへのお問い合わせ

● 電話でのお問い合わせ
電話番号（フリーダイヤル） 0120-262-686
受付は月曜日から金曜日の10：00～12：00、13：00～17：00となっております。
（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

● オンラインでのお問い合わせ
インターネット http://www.princeton.co.jp/support/top.html

お問い合わせの際、あらかじめ下記の情報をご準備ください。

1. お客さまの住所・氏名・連絡先のお電話番号
2. ご使用の弊社製品名・型番
3. ご使用の携帯電話の機種
4. 現在の状況
（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面表示の状態やエラーメッセージなどの内容）

製品保証に関して

・万一、製品のご購入から1年以内に製品が故障した場合は、弊社による故障判断完了後、無償にて修理/製品交換対応させていただきます。修理にて交換された本体および部品に関しての所有権は弊社に帰属するものと致します。
・保証の対象となる部分は製品のハードウェア部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。
・本製品の故障または使用によって生じた損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
・当社は商品どうしの互換性照合をある特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な照合に関する正確性や完全性については、誠示的にも明示的にもいかなる保証も行なっておりません。また記載した商品に関連して発生した下記のような障害および損失については、当社は一切の責任を負わないものといたします。
・一度ご購入いただいた商品は、商品自体が不良ではない取り、返品または交換はできません。各機種には対応機種があり、ご購入時にご案内していますのでよくご確認下さい。対応機種間違いによる返品はできませんのであらかじめご了承下さい。

This warranty is valid only in Japan

免責事項

■保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となります。
・保証書のご提示がない場合、または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
・設置、環境の不備等、使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷。
・輸送・落下・衝撃など、お取り扱いが不適切なために生じた故障・損傷。
・お客様の責に帰すべき事由により生じた機能に影響のない外観上の損傷。
・火災、地震、水害、塩害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障・損傷。
・接続しているほかの機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷。
・お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障・損傷。
・お客様の故意または重過失により生じた故障・損傷。
・ユーザーズガイド記載の動作条件ならびに機器設置環境等を満足していない場合。
・弊社もしくは弊社指定の保守会社以外で本製品の部品交換・修理・装着・改造を施した場合。
・譲渡などより製品を入手した場合。

■お買い上げ製品の故障もしくは動作不具合により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体のデータに関する損害、逸失利益、ダウンタイム(機能停止期間)、顧客からの信用、損傷および対応への損害、交換、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのデータ、プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用(人件費、交通費、復旧費)等、一切の保証は致しかねます。またそれらは設定保証の明記がされていない場合であっても(契約、不法行為等法理論の如何を問わず)責任を負いかねます。

■製品を運用した結果の他への影響につきましては一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい

■購入された当社製品の故障、または当社が提供した保証サービスによりお客様が被った損害(経済的、時間的、業務的、精神的等)のうち、直接・間接的に発生する可能性のあるいかなる逸失利益、損害につきましては、当社に故意または重大なる過失がある場合を除き、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。また、弊社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された弊社製品などの価格を超えて責任を負うものではありません。

製品修理に関して

・保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送料はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させて頂きます。
・動作確認作業中及び修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。
・お客様に商品が到着した日から1週間以内に、お客様より当社に対して初期不良の申請があった場合で、なおかつ弊社側の設定がなされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の領収、箱、保証書などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。
・修理品に関しては「製品保証書」を必ず同梱し、下記「お問い合わせについて」に記入された住所までご送付ください。
・販売中止等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。
・お客様の設定、接続等のミスであった場合、また製品の不良とは関われない場合は、技術料およびチェック料を頂く場合がございますので予めご了承下さい。
・お客様の側都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び基送料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。
・サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付頂いた場合で、症状の再現性が見られない場合、及び製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。

修理／お問い合せについて

■テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ先

テクニカルサポート

〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-9-5　KAJIビル 3F　プリンストンテクノロジー株式会社　テクニカルサポート課

フリーダイヤル：0120-262-686

（受付：月曜日から金曜日の10：00～12：00、13：00～17：30 祝祭日および弊社指定休業日を除く）

Webからのお問い合わせ：http://www.princeton.co.jp/support/top.html

製品保証規定

保証期間：1年保証

●お買い上げになりました機器が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合には、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。

●修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。

●保証期間内でも次の場合には有償修理となる場合がございます。

1）ユーザー登録をされていない場合。
2）本保証書をご提示されない場合、または記入もれ、改ざん等が認められた場合。
3）ご使用の誤り、または不等な修理、調整、改造、誤接続による故障及び損傷。
4）接続している他の機器に起因して生じた故障及び損傷。
5）お買い上げ後の輸送や移動、落下等不当なお取り扱いにより生じた故障及び損傷。
6）火災、天災、公害、塩害、異常電圧や指定外の電圧使用等による故障及び損傷。

●本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

●免責事項、製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保 証 書

製品型番： PTM-BHMD　　シリアルNo.

保証期間：お買い上げ日　　年　　月　　日　から　1年間

フリガナ

お客様名：　　様

〒

住所：

電話番号：　　－　　－　　E-mail ：

販売店名・住所・電話番号（販売店印）

印

Princeton
プリンストン テクノロジー株式会社
本社〒101-0032　東京都千代田区岩本町3-9-5　KAIビル3F
URL:http://www.princeton.co.jp

Memo

Bluetoothは、その商標権者が所有しており、プリンストンテクノロジー株式会社はライセンスに基づき使用しています。
Bluetooth、ブルートゥース、 は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
本書の内容は予告なく変更されることがあります。
本書の著作権はプリンストンテクノロジーにあります。
本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
本書では ™ © ® は明記しておりません。
本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。
あらかじめご了承ください。

開発・製造・販売

Princeton

プリンストンテクノロジー株式会社

〒101-0032
東京都千代田区岩本町 3-9-5　K.A.I.ビル3F

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。

2005年1月　第2版
Copyright©2004 Princeton Technology ltd.

プリンストン テクノロジー株式会社